

キャンプファイヤー

1 活動の目的

- 夜空の下で火を囲み、仲間と歌やゲーム等を行い友情を深め、楽しい思い出を作ることを目的とします。
- 夜の暗闇の中で、炎の神秘さに触れ感動を体験して、豊かな情操を育みます。

2 準備・消火（びわ青少年の家の職員が行います）

- キャンプファイヤー用の薪の段組及び、点火用のトーチ、灯油の準備。
追加投入用のファイヤー薪の準備。貸出用皮手袋の準備。ファイヤー用の椅子の準備。
なお、椅子の配置は利用団体でお願いします。
緊急消火用のバケツの準備。消火用水（一輪車）の準備。着火マンの準備。
- 火の神様等の衣装は、利用団体からの事前依頼にもとづき準備いたします。

3 CD ラジカセ、マイク等の音響機器

- 利用団体で準備してください。

4 利用団体の役割分担

- 営火長…キャンプファイヤーの実施責任者。「はじまりの言葉」「夜話」等を行う。
- 司会進行者(エールマスター)…キャンプファイヤー時のプログラム進行者。プログラムの内容により、ゲーム担当、歌担当、ダンス担当等複数人のスタッフが必要。
- 火の守（ファイヤーキーパー）…キャンプファイヤーの流れの中で火の調整を行う。
(綿100%の長袖シャツ《防火用》が必要です)

以上の役割は大人が担う。

- 火の神様…ファイヤー薪にトーチで点火する際の火を持ってくる人。
 - 火のお供…ファイヤー薪にトーチで点火する際の手伝いをする人。
- 以上の役割は子供でも可能。



5 プログラムの一例

- *集合、歌練習…キャンプファイヤー場へ入場する前に、キャンプファイヤーで歌う歌の練習を行う。
- *入場…「夕焼け小焼け」「遠き山に日は落ちて」等を歌いながら、キャンプファイヤー場へ入場する。あるいはBGMを流しながら入場する。入場の際には組んであるファイヤー薪の周りを1周するとよい。
- *営火長による「はじまりの言葉」

◆「はじまりの言葉」の一例

ここびわの里も夜のとばりに包まれようとしています。このびわの自然に触れながら、私たちは集いの夜を持とうとしています。風の音、虫の声…今夜は自然の素晴らしさにふれながら、聖なる火を囲んで、友情の輪を広げ、楽しく過ごしたいと思います。

*火の神様の入場…火の神様が入場し、トーチの火を火のお共に分火する。分火の後に組んであるファイヤー薪に点火する。分火してもらった時に、子供たちに「誓いの言葉」みたいなものを述べさせても良い。

◆「火の神様の言葉」の一例

〇〇の良い子のみなさんがキャンプファイヤー楽しめるように、びわの山から聖なる火を持ってきた。これからこの聖なる火を私のお供に分けてから、みんなで点火したいと思う。最初に、今夜集った仲間が仲良くなるように「友情の火」を授ける。次に今夜集った仲間が元気でいられるように「元気の火」を授ける。そして最後に今夜集った仲間が幸せでいられるように「幸せの火」を授ける。さあ、みんなで聖なる火を囲み、歌い、踊り、楽しい時間を過ごしましょう！

◆「誓いの言葉」の一例

「友情の火」をもらいました。私たちはこのキャンプファイヤーを通して、友達と仲良くすることを誓います。

「元気の火」をもらいました、私たちはこのキャンプファイヤーで楽しく、元気に過ごすことを誓います。

「幸せの火」をもらいました。私たちは、自分の幸せだけではなく、世界中の人が幸せになれるように努力することを誓います。

- *エールマスターはここで、「燃えろよ燃えろ」等を歌い、キャンプファイヤーを盛り上げる。ファイヤーキーパーは火の勢いを強くすると良い。
- *その後、適宜、歌、ゲーム、ダンス、スタンプ等を行う。

*キャンプファイヤーも終わりに近づいたら、営火長の夜話で締めくくり退場する。

◆「夜話」の一例

さっきまで、あんなに赤々と燃えて我々を楽しませてくれた火も、だんだん小さくなってきました。我々を楽しませてくれた火の神様から頂いた火を、そろそろ、びわの空に返したいと思います。

遠い昔、人は夜になると夜空に広がる星を見つめ、暗くて静かな夜をたき火を囲みながら過ごしました。昔の人にとって火は、野生の動物から身を守るためのものでもあり、肉や魚をおいしくするためのものであり、また、寒い季節に暖をとるためのものでもありました。火を使うことによって、人の生活は大きく変わり、文明も発展していきました。昔の人は、火は神様からの贈り物と考えていました。その後、文明が発展し、お祭りをするようになって、人は神様の前に火をささげることを忘れませんでした。今夜のキャンプファイヤーもひよっとすると、昔の人の営みの名残かもしれません。

真っ赤に燃えあがった炎や、夜空に高く舞い上がった火の粉がみなさんの心の奥に刻まれ、今宵のひと時が楽しい思い出として、いつまでもみなさんの心の中に残ることをお祈りいたします。それではこれで今夜のキャンプファイヤーを終わります。

*退場時に「今日の日はさようなら」「ふるさと」等を歌いながら、退場する。

以上はあくまでプログラムを組む際の一例です。流れとしては最初と最後は静粛な雰囲気で行い、真ん中のダンスや歌は楽しく元気に行うといいキャンプファイヤーになります。団体ごとに工夫をして楽しいキャンプファイヤーにしてください！

6 後片付け

- キャンプファイヤーは午後 8:30 までには終わらせてください。また、薪はなるべく燃やしきってください。
- 消火は職員が行います。 灰は翌朝に職員が片付けます。
- ファイヤー用の椅子は元通りに台車に収納してください。使用したトーチ棒は消火用水（一輪車）の水につけておいて下さい。
- 終了後は、借用物品（火の神様の衣装、着火マン、音響機器等）を事務所に返却してください。

